

## 6 大都市活動を支える下水道事業の推進について



【提案・要望先】国土交通省

堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

- 安全・安心なライフラインの確保と将来に向けた快適な暮らしの確保のため、**下水道事業(国土強靱化・老朽化対策)の推進に必要な予算を十分に確保すること。**

### 【現状と課題】

#### 《国土強靱化（浸水対策・地震対策）のための財源確保》

- 近年、全国的な局地的大雨や地震により極めて甚大な被害が発生しており、安全・安心な暮らしのため、国土強靱化に資する浸水・地震対策の強化が求められている。
- これらの対策は、**施設建設を伴う大規模かつ長期にわたる事業のために、継続的かつ安定的な財源の確保が必要。**

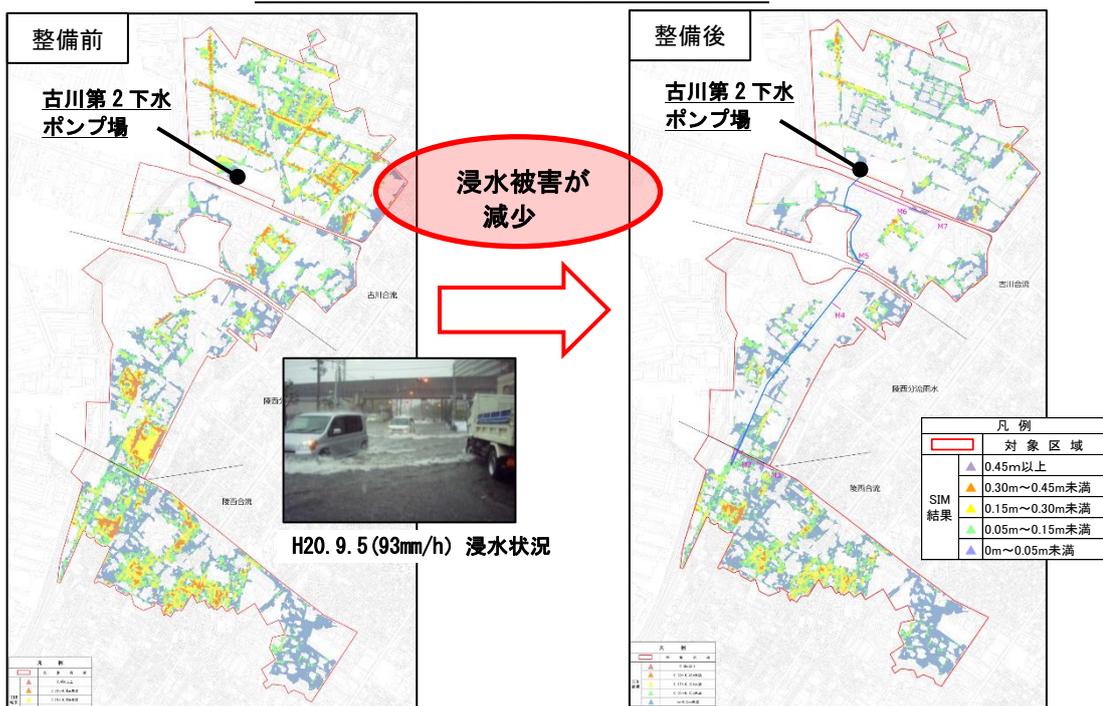
#### ①浸水対策

- ・浸水実績や浸水シミュレーションから、浸水対策地区を 24 地区に絞込み、対策を実施中（平成 30 年度末：14 地区完了）

重点事業：古川第2下水ポンプ場建設工事（集水域 約 273ha ・揚水量 約 2,100m<sup>3</sup>/min）



浸水シミュレーションによる浸水区域想定図



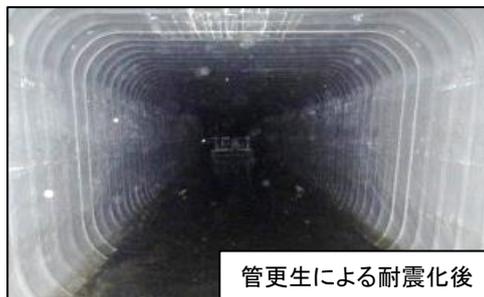
②地震対策

- ・避難所と処理場を結ぶ管きよなどの「重要な管きよ」約 420 kmを対象に、耐震化対策を実施中（平成 30 年度末：約 418km 対策完了）

重点事業：重要な管きよの耐震化対策工事



耐震化前



管更生による耐震化後

《老朽化対策の財源確保》

- 本市下水道施設は、主に昭和 30 年代から高度経済成長期にかけて整備され、計画的な改築更新を実施しているものの、老朽化施設はますます増大する。
- 下水道は、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等、公共的役割の高い施設である。
- 適切な国費支援が得られない場合、下水処理の機能停止による公共用水域の水質悪化など、社会経済活動や市民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念される。
- 下水道が担う公共的役割を果たしていくために、必要な財源と適切な支援が必要。

○老朽化対策

- ・下水道処理場・ポンプ場の経年化状況：標準耐用年数超過設備 40%以上



改築前

泉北水再生センター  
最終沈殿池改築工事  
設備：モノレール式  
汚泥掻寄機



改築後



改築前

泉北水再生センター  
送風機設備改築工事  
設備：高速軸浮上式  
ターボブロウ



改築後

◆事業費及び国庫補助額

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度（見込額）
事業費	12,918,500 千円	12,159,000 千円	11,467,000 千円
国庫補助額 （要望額）	3,519,700 千円 （3,519,700 千円）	2,807,800 千円 （2,807,800 千円）	【要望額】 【3,459,000 千円】

下水道事業の推進により、  
安全・安心なライフラインの確保と将来に向けた快適な暮らしの確保を実現

【本件に関する連絡先】

上下水道局 経営企画室 事業マネジメント担当課長 太田倫己（TEL:072-250-9121）